教育関係共同利用拠点

知識基盤社会を担う専門教育指導力育成拠点 大学教員のキャリア成長を支える日本版SoTLの開発



Professional Development Program

2016年度プログラム

世界水準の大学教育創造を目指して



東北大学 高度教養教育·学生支援機構

改定版 2016.05



専門性開発 プログラム

大学教員の役割は、研究・教育・ 社会サービス・管理運営の全面に わたり、キャリア・ステージによっ て、求められる能力も異なります。 また、大学職員の仕事も定型的な 業務だけでなく、課題の分析や企 画の構想、マネジメントも求められ るようになりつつあります。

私たちは、大学教職員の生涯にわ たる能力開発のために、分野別と キャリア対象別にて専門性開発 (Professional Development; PD) プログラムを開発・提供しています。

分野別プログラム

高等教育、大学を取り巻く環境は大きく変化しており、 大学教職員に必要とされている能力も高度化・多様化しています。

様々な能力開発ニーズを充たすべく、

セミナーやワークショップを4分野(ゾーン)に分けて提供しています。

ゾーン カテゴリー/エレメント

高等教育の リテラシー 形成関連

[Literacy]

高等教育論[L-01]

高等教育の歴史、大学の理念、大学制度・組織、入試制度、関連法制、国 内外の動向など広く高等教育に関する知識・教養に関するもの

大学教員論[L-02]

コード:

大学教員の役割・責務、倫理、キャリア形成など大学教員に関する知識 教育内容・カリキュラム論[L-03]

教養教育論、カリキュラム論など教授する教育内容の教育論に関するもの 教授技術論[L-04]

授業の設計、シラバスの書き方、学習と教授の心理学、教育測定の原理 と方法、プロジェクトベースラーニングの進め方、論文・レポート執筆の 指導など教授技術に関するもの

専門教育での 指導力形成関連

学習指導法[S-01]

専門分野の学習方法の指導法

実験指導法[S-02]

コード:

実験の計画、準備、実施、結果の整理、施設・設備・機器類の使用、危険 の防止、倫理的ガイドライン等についての指導法

研究指導法[S-03]

研究テーマの設定方法、関連文献の検索方法、プレゼンテーションの方 法、論文のまとめ方、研究費の申請方法等についての指導法

学生支援力 形成関連

[Specialty]

学生論[W-01]

現代学生論、大学生の発達と学習、学生の生活問題、学生理解とカウン セリングなど学生理解と指導に関するもの

コード:

学牛相談[W-02]

大学コミュニティへの適応支援の技術、カウンセリングの基礎、コンサル テーションの基礎、グループワークの基礎、人間関係調整法等の指導

[Health&Welfare] キャリア教育[W-03]

進路選択の支援方法、キャリア形成の支援方法、経済的自立の指導

健康教育[W-04]

健康な生活習慣形成の指導法、趣味や余暇活用の指導法

マネジメントカ

組織運営論[M-01]

形成関連

大学の管理運営、大学のリーダーシップ論、危機管理

⊐-K:

大学人材開発論[M-02]

FD/SD論、教職員開発プログラム作成、キャリア・ステージ論

M

教育マネジメント[M-03]

[Management]

質保証、入口管理、カリキュラム・マネジメント、出口管理

詳しくは東北大学大学教育支援センターウェブページをご覧ください。 http://www.ihe.tohoku.ac.jp/CPD

キャリア対象別プログラム

大学教員のキャリア・ステージに応じて特別に編成したプログラムを中心に、

各種セミナーやワークショップの受講を通じて、各ステージで直面する特有の課題を解決する力を養います。

博士課程後期学生、ポスドク研究員、新任教員、中堅・リーダー教職員、大学職員、

そして、昨年度から専門教育指導力育成プログラムを加え、それぞれに特化して提供しています。



ジュニア ファカルティー プログラム _ 大学教員をめざすあなたに

博士課程後期の大学院生・ポスドク研究員等を対象に、大学教員に求められる能力や知識を実践的に学び、「将来の大学教員像」について主体的に考える機会を提供するプログラムです。参加者は各種セミナー、ワークショップ、授業参観、他大学の調査訪問等での体験を省察しながら、未来の同僚や経験豊富な教員との対話を通じて、大学教員としての自分の在り方や、教育観の構築に取り組みます。東北大学に限らず、全国の大学から参加者を募っています。

大学教員準備プログラム

ジュニア ファカルティー プログラム 大学のこれからを担うフロントランナーに

大学に勤務する新任教員を対象に、「仕事を理解する」、「基礎知識を得る」、「自己省察力を養う」、「実践力を磨く」、「比較の目を育てる」、「同僚とつながる」、「先達から学ぶ」などをテーマに大学教員として必須の教養を培うプログラムです。経験豊かな先達教員らの授業見学や意見交換、同僚である他の参加者らとの対話を通じて、組織の一員としての大学教員、大学教育全体を考える視野を身につけます。全国の大学から参加者を募集します。

New Faculty Program 新任教員プログラム

Leadership for Academic Development Certificate Program

アカデミック・リーダー 育成プログラム

(履修証明プログラム*)

大学改革を担うアカデミック・リーダーに

各大学で教育・研究・学生支援・国際化等の企画や改革に携わる副学長・部局長・学科長・アドミニストレーターといったアカデミック・リーダーを育成することを目的としたプログラムです。各所属機関の改革案を作成し実行していけるアカデミック・リーダーを育成するため、国内一流の講師・アドバイザー陣の下、高等教育に関する高度で体系的な知識・技能を獲得するとともに、国内外の大学の先進的事例を通して実践的に学びます。[2016年度は募集しません]

*履修証明プログラム

社会人等を対象に大学の教育・研究資源を活かし、一定の教育計画の下に編成された体系的な知識・技術等の習得を目指した教育プログラムです。目的や内容に応じ総時間数120時間以上で設定され、プログラム修了者には、学校教育法に基づき履修証明書が交付されます。



Staff Development Program

大学職員能力開発プログラム

大学教育の運営力を高める

質の高い大学教育を実現するには、教員の教育力向上に加え、高度な専門性をもった職員のマネジメント力向上が求められます。職員として、学生の学びを豊かにする空間をいかに整備するのか、あるいは教育改善においていかなる役割を果たすべきなのか、このプログラムでは、各種セミナーやワークショップを通して、教育企画力や学習支援など、大学職員に求められる能力の開発・向上を図っていきます。

Discipline-Specific Teaching Program

専門教育指導力育成 プログラム

競争力の基盤となる専門教育指導力を獲得する

グローバル化が推進されている日本の大学において、競争力の基盤となる専門分野の指導力向上は大学教育力強化のためにも必須です。学生の学習メカニズムや教授=学習過程の理解、専門分野における最先端の研究成果をカリキュラムに構造化し、授業科目に反映させ、学生の理解を促進させる教材・教育方法を進める専門教育指導力の形成が重要です。日本の高等教育における専門教科教育の質の向上を目的とし、新しいプログラムを提供します。



2016年度 PDセミナー 開講予定科目一覧

受講にあたって

PDセミナーは4ゾーンに分けて提供 しています。また、院生、新任教員、中 堅・リーダー教職員、職員のどの層を 対象にしているかが分かるようにし、 様々な必要性に対応して、計画的に 受講しやすいようにしています。これら の区別は大まかな目安であって、縛ら れる必要はありません。ご自身に必要 なセミナーを受講してください。

詳細について

日時等は変更となる場合があります。 申込方法、開催場所の詳細は、各セミ ナーのポスターまたは東北大学大学 教育支援センターウェブサイトをご覧 ください。

http://www.ihe.tohoku.ac.jp/CPD

[凡例] [象校]

No

院生:院生向け 新任:新任教員向け タイトル 中堅・リーダー: 教職員向け 開催日時 職員:職員向け

概要

講師

[推薦度]

[コード] 対象 推薦度

- ◎:絶対お薦め
- 〇:押さえておきたい
- △:視野を広げる
- ×:対象外

高等教育の リテラシー形成関連

IOR 500 大学カリキュラムの構造と編成原理

4/29(金) 13:00-15:00

大学のカリキュラムは、多様な学問分野の内的 な構造や論理を踏まえつつ、教育の目的·内容・ 方法が統合的に編成される必要があります。 本セミナーでは、日米の大学における一般教育 (教養教育)カリキュラムを事例に、大学カリ キュラムの構造と原理について学びます。

吉田 文(早稲田大学教授)

[L-03] 院生 △ | 新任 ○ | 中堅·リーダー ◎ | 職員 ◎

#7 LAD

第24回東北大学高等教育フォーラム (新時代の大学教育を考える[13])

大学入試における共通試験の役割

センター試験の評価と新制度の課題-

5/23(月) 13:00-17:00

大学入試センター試験に代わる新テストが迷 走しています。現時点で新テストについて具体 的に論じることが難しい中、本フォーラムでは 来るべき課題を予期しながら現場で可能な対 応を模索すべく、原点に立ち返って改めて現実 的制約の下での共通試験への期待と役割につ いて考えます。

南風原朝和

(東京大学理事・副学長、高大接続システム改革会議委員)

倉元直樹(東北大学高度教養教育·学生支援機構教授)

大塚雄作(大学入試センター副所長)

駒形一路(静岡県立掛川西高等学校教諭)

[L-01] 院生 ○ | 新任 ○ | 中堅・リーダー ○ | 職員 ○

#3 500

「しまった!!」とならないために

ICT時代の教育で押さえておきたい法

7/7(木) 14:00-16:00

教育における情報技術の活用は既にごく身近 なものになりつつあります。一方で、急速な技 術発展により法律と現場との齟齬や想定外の 事項も発生しています。どのような法律があ り、どのように解釈したらよいのか、わかりや すい実例や最新のトピックを交えながら学び ます。

三石 大(東北大学教育情報基盤センター准教授) 金谷吉成(東北大学法学研究科講師)

[L-02] 院生 ○ | 新任 ○ | 中堅·リーダー ○ | 職員 ○

LAD #4 インストラクショナルデザインへの誘い 8/9(火) 10:00-15:00

インストラクショナルデザインとは、学習ニー ズの分析とシステマティックな授業の設計を行 うことです。本セミナーでは、ワークショップを 通して、より良い学習の環境を総合的にデザイ ンすることを目指し、人はいかに学ぶか、学習 とは何かという問題の解決の糸口となるであ ろうインストラクショナルデザインの基礎的知 識を学びます。

鈴木克明(熊本大学教授)

8/25(木) 13:00-17:00

[L-04] 院生 △ | 新任 ○ | 中堅·リーダー ◎ | 職員 ○

NFP 授業デザインとシラバス作成

シラバスの数ある機能のうちでも、特に授業デ ザインの小道具としての側面に注目し、1学期 (15回)分の授業について、教育目標・教育学習 活動・学習成果の把握を構造化することの重要 性、ルーブリックによる評価について学びます。

串本 圖 (東北大学高度教養教育・学生支援機構准教授)

[L-03,04] 院生 〇 | 新任 〇 | 中堅・リーダー 〇 | 職員 △

DEED NFP #6 授業づくり:準備と運営

9/14(水) 13:00-15:00

学習者が集中し、十分に理解できるような授業 をつくるためには何に留意し、どのような準備 をして、いかに授業を展開すると良いのでしょ うか。本セミナーでは、1回の講義形式の授業 を念頭に置き、認知科学の立場から学習者の認 知面・心理面から授業づくりについて学びます。

邑本俊亮(東北大学災害科学国際研究所教授)

[L-04] 院生 △ | 新任 ◎ | 中堅·リーダー ◎ | 職員 ○

#7 LAD 500 グローバル化する高等教育における 国際化戦略·政策·実践

12/23(金) 10:00-12:00

社会経済のグローバル化を背景に、日本の大 学においても国際化と質の問題が問われてい ます。政府や産業界からグローバル人材の育 成・輩出への要請が高まる中、我が国の大学は いかにグローバル化に対応すべきでしょうか。 そのために推進されている政策や実践につい て、アジア太平洋諸国の政策動向も視野に入れ ながら考えます。

太田 浩(一橋大学教授)

[L-01, M-01]

院生 △ | 新任 ○ | 中堅・リーダー ◎ | 職員 ◎

#8

DEED NE

本当のかしこさとは何か

本当りかしこのこは同か ──感情知性と大学教育──

10/14(金) 15:00-17:00

大学教育では専門知識を身につけるために、「理論的」であることが重視され、「感情」は排除されてきました。しかしEQ(心の知能指数)ということばがあるように、豊かな感情を育てることは、市民性が柔軟な思考を育てる重要な課題であることが明らかになってきました。感情知性を育てることは大学において大切な課題です。

箱田裕司(京都女子大学教授)

[L-04] 院生 〇 | 新任 〇 | 中堅·リーダー 〇 | 職員 〇

S

専門教育での 指導力形成関連

#9

研究倫理シリーズ第4回 発表倫理を考える

7/9(±) 13:00-17:00

ルールをふまえた成果の発表は研究者や研究 指導にとって喫緊の課題です。発表倫理を正し く理解しないと不適切なオーサーシップや盗 用、二重投稿・分割投稿など、様々な倫理的問 題が生じる可能性がありますが、分野や研究者 間で十分な共通理解があるとは言えません。本 セミナーでは、「発表倫理」に焦点を絞り、現状 と課題を議論します。

山崎茂明(愛知淑徳大学教授)

吉村富美子(東北学院大学教授)

大隅典子(東北大学医学系研究科教授)

羽田貴史(東北大学高度教養教育・学生支援機構教授)

[S-03] 院生 ○ | 新任 ○ | 中堅·リーダー ○ | 職員 △

#10

ÐТР

専門教育指導力育成プログラム

大学中国語教授法強化講座: 中国語を教える大学教員のための スキルアップコース(海外集中コース/1週間) 9/2(金)-10(土)

中国語を教えている大学教員のためのアドバンスなコースです。中国の大学で、中国語教育の理論・方法論、指導の実際、教材について学ぶ大学教員対象プログラムをカスタマイズしました。 スキルアップを目指す中堅教員、初めて

教壇に立つ教員を全国募集します。

[S-01] 院生 × | 新任 ○ | 中堅·リーダー ○ | 職員 ×

#11

Classroom Management Techniques for Classes Conducted in English

11/11(金) 15:30-18:00

英語で授業を担当する方を対象として、授業の始め方、学生への指示の出し方など、授業を 運営するための英語表現を実践的に学ぶセミナーです。スムーズな授業運営に役立つ英語表現をネイティブ講師がわかりやすく解説します。

Todd Enslen(東北大学高度教養教育·学生支援機構講師)
Barry Kavanagh(東北大学高度教養教育·学生支援機構講師)

[S-01] 院生 ○ | 新任 ○ | 中堅·リーダー ○ | 職員 △

#12

PFFP NFP

コーチング技能を活用した院生指導

12/9(金) 13:00-16:10

コーチングとは、深い理解とスキルを身に着ける 認知的徒弟制において、教師がモデリングに続き、課題を実行している学生にヒントや挑戦を与 えたり、動機づけ、励まし、対話を行う活動です。 学生の意欲を高める研究指導には不可欠のス キルです。コーチング技術の開発に取り組んでき た出江先生らにワークショップ形式で学びます。

出江紳一(東北大学医工学研究科長、教授)

倉重知也(株式会社イグニタス代表取締役)

[S-03] 院生 ○ | 新任 ◎ | 中堅·リーダー ◎ | 職員 △

#13

Classroom English: Pronunciation

12/16(金) 15:00-17:00

基本的な英語の発音のコツは、大人になってから はなかなか学ぶ機会がありません。本セミナーで は、通じる英語に欠かせないリズムやアクセント、 日本人が苦手とする音をとりあげ、ネイティブ講 師による実践的な練習を交えて楽しく学びます。

Vincent Scura (東北大学高度教養教育・学生支援機構講師)

[S-01] 院生 ◎ | 新任 ◎ | 中堅・リーダー ○ | 職員 △

#14

BTD

専門教育指導力育成プログラム

文系基礎学・市民的教養としての 数理科学

──大学教育で数量的リテラシーを育てる──(仮)9/9(金) 13:00-17:30 •東京にて開催

数理科学は、あらゆる学問で活用され、現代社会を生きる教養として不可欠です。諸外国においては、初等教育から高等教育まで数学教育

が強化されていますが、日本は数学嫌いが増加してきました。分野を超えて数理科学教育の 重要性を共有し、発展の道を探ります。

北原和夫(東京理科大学教授・物理オリンピック日本委員会理事長)

桑原輝隆(政策研究大学院大学教授)

佐和隆光(滋賀大学特別招聘教授)

根上生也(横浜国立大学教授)

[S-01] 院生 △ | 新任 ◎ | 中堅·リーダー ◎ | 職員 △

W

学生支援力 形成関連

#15

500

障害学生教育・支援セミナー

11/8(火) 13:00-17:00

障害者差別解消法が施行し、多くの大学で特別支援のための窓口の設置や、支援スタッフの配置が行われ、学生に対し「社会的障壁の除去」「合理的配慮の提供」が試行されています。障害教育で教育関係共同利用拠点の認定を受けている筑波技術大学と共催し、大学における取組みの現状と課題をご紹介いただきます。

[W-01,02] 院生 △ | 新任 ◎ | 中堅·リーダー ◎ | 職員 ◎

#16

健康科学セミナー(4回シリーズ)

後期

最近の健康科学の進歩は目覚ましく、その 進歩を踏まえた健康科学の概略を知ることが 「健康な生活習慣形成の指導」を教員が行う ために必須です。本セミナーでは、健康科学全 般からのトビックス、学生・教員を脅かす疾患 を中心に計4回の講演を予定しています。

[W-04] 院生 ○ | 新任 ◎ | 中堅・リーダー ◎ | 職員 ○

M

マネジメントカ 形成関連

#17

LAD

500

大学職員の専門性開発

― その現状と課題―

4/29(金) 15:30-17:30

大学を取りまく課題が高度化・複雑化するなか、 大学職員に求められる業務も変化してきていま す。職員各自が幅広い業務知識を取得するとと もに専門力が求められています。本セミナーで は、海外の事例との比較を通して、日本における 職員の専門性開発のあり方について考えます。

大場 淳(広島大学准教授)

[M-02] 院生 △ | 新仟 ◎ | 中堅・リーダー ◎ | 職員 ◎

#18 LAD 500 組織のパフォーマンスを向上させる

6/30(木) 13:30-17:30

リーダーシップ

組織のパフォーマンスを高めるためには有効 な組織マネジメントとリーダーシップが欠かせ ません。組織は人間が結びついて目的を達成 するためのものであり、ビジョンを共有し、同じ 目標のもとで分担しながら活動するために、動 機づけや信頼感、相互コミュニケーション、そ れを目標に導くリーダーシップなど重要な手法 があります。本セミナーはワークショップ形式を 通じて、組織を有機的に機能させるための方 策について考えます。

藤本雅彦(東北大学経済学研究科教授)

[M-02] 院生 △ | 新任 ○ | 中堅・リーダー ◎ | 職員 ◎

#19

5DP

若手職員のための大学職員論(6) 大学職員として学ぶ!!を考える

学生の学び・自分の学び-

7/23(土) 13:00-17:30

今日、大学経営を担い、教員と共に学生の学 びを支援する職員自身にも、主体的に学び、自 らの能力を高め、キャリアを形成していく力が 必須となることは言うまでもありません。本セ ミナーでは、大学の今後を担う若手・中堅職員 が、ひととき現場を離れ、大学の垣根を超えて 他大学職員と共に省察や議論を行う中でさら に成長していくきっかけを提供します。

[M-02] 院生×|新任×|中堅·リーダー×|職員 ◎

#20

IDR

500

機関戦略と資源配分

8/7(日) 10:00-12:00

政府から大学への資金配分の縮減とともに競 争的原理が強まるなか、効果的な機関戦略を 構築するためには、ミクロな学内資源配分をど う設計・実施するのかがカギになります。本セミ ナーでは、我が国のマクロな大学財政の状況 を踏まえつつ、国立大学を中心に機関レベル の資源配分について学びます。

水田健輔(大正大学教授)

[M-01] 院生 △ | 新任 ○ | 中堅·リーダー ◎ | 職員 ○

#21

LAD

研究評価の手法とマネジメント

8/7(日) 13:00-15:00

大学の主要な機能の一つである研究活動に は近年、社会から説明責任が強く求められるよ うになり、その評価のあり方が問われるように なっています。また、国内外における当該大学 の名声に影響を与える研究評価は、機関戦略 の点からも重要性を増しています。本セミナー では、研究評価の手法とそれに基づくマネジメ ントについて学びます。

林隆之(大学改革支援・学位授与機構准教授)

[M-03] 院生 ○ | 新任 ○ | 中堅・リーダー ○ | 職員 ○

500

大学職員のための「大学変革力 | 育成講座(シリーズ構成)

8月-12月

本講座は、大学において世代・職階ともに「中 堅 に 位置づく 職員が、 変化の激しい 多様な時 代的ニーズを踏まえつつ、自大学の強みを活か した新たなイノベーションを創出できる「大学 変革力」を獲得・育成することを目的としていま す。本講座はシリーズで構成され、4ヶ月の間に チームによる自主的な議論や打合せを経て、企 画提案を行っていただきます。

[M-02] 院生× | 新任× | 中堅・リーダー× | 職員 ◎

#23

大学IRデータの分析・解釈・活用

9/2(金) 13:30-17:30

複数の量的データから意味ある情報を導きなが ら、それに基づいて大学教育の改善を図るには どうすればいいでしょうか。本ワークショップで は、実際のデータを要約し、変数同士の関係を 分析し、結果に説明や解釈を加えるスキルの習 得を目指します。扱うのは初歩的な技法のみで すが、参加者にはExcelとPowerPointの基本 操作ができること、グループワークで他の参加者 と協力しながら作業することが求められます。

書本 圖 (東北大学高度教養教育・学生支援機構准教授) 松河秀哉(同講師)

[M-02] 院生 △ | 新任 ○ | 中堅・リーダー ○ | 職員 ○

#74

データに基づく教育改善への

アプローチ(1) • 学内限定

11月予定

東北大学の教育改善について、いま何が課題で しょうか。教職員は何に取り組むべきでしょうか。 本セミナーでは、学内の各種データの分析結果 を用いながら、本学における教育の強み・弱みを 明らかにしながら、改善・改革のための具体的に 何をすべきかを考えます。本学で進むデータに 基づく教育改善の実例もご紹介します。

東北大学高度教養教育·学生支援機構 教育評価分析センタースタッフ

[M-02] 院生 △ | 新任 ○ | 中堅·リーダー ◎ | 職員 ◎

#25

LAD

500

IDE大学セミナー

11/21(月) 13:00-17:30

このセミナーは、大学教育に関心を有する国 公私立大学等の教職員を主な対象として、当 面する諸課題について情報共有及び検討を 行い、各機関において教育・学生指導の改善・ 充実を図ることを目的にしています。

[M-01] 院生 △ | 新任 ○ | 中堅·リーダー ◎ | 職員 ○

#26

CDO

若手職員のための大学職員論(7) ―先達の「一皮むけた経験」に学ぶ vol.2-1月末予定 13:00-17:30

今日、大学経営を担い、教員と共に学生の学 びを支援する職員自身にも、主体的に学び、自 らの能力を高め、キャリアを形成していく力が 必須となることは言うまでもありません。本セ ミナーでは、大学の今後を担う若手・中堅職員 が、ひととき現場を離れ、大学の垣根を超えて 他大学職員と共に省察や議論を行う中でさら に成長していくきっかけを提供します。

[M-02] 院生×|新任×|中堅·リーダー×|職員 ◎

#27

正午PD会

月2回程度 12:10-12:50

東北大学高度教養教育・学生支援機構は、国内 外をみても他に例のない革新的でチャレンジン グな組織として創設されており、その教員組織・ 業務センターを超えた多様な人材の交流は、組 織としての能力を発揮するために必要不可欠で す。本会では、各回、機構の教員・スタッフより研 究・教育・業務内容に関する話題が提供され、ラ ンチ持参での交流を目的としたPD(Professional Development)の機会を提供します。

[M-02] 院生 △ | 新任 ◎ | 中堅·リーダー ◎ | 職員 ◎

DEED NFP

LAD

500

BTP

各キャリア別対象プログラムの一環としても提供されます。



専門性開発プログラム 動画配信サイト



www.ihe.tohoku.ac.jp/CPD/PDPonline

変化する高等教育に追いつき追い越すためのオンライン学習

東北大学高度教養教育・学生支援機構で実施している専門性開発プログラムの様子を動画配信しています。 視聴に際して登録や受講料などは必要ありません。だれでも、いつでも、どこでも、オンライン学習が可能です。

機関での利用をご希望の場合は、「機関利用申請書」の提出をお願いしています。詳細はPDPonlineウェブページをご覧ください。

[Literacy]



歴史から見た大学: 中世から現代まで 講師──寺崎昌男



授業デザインとシラバス作成 講師─―串本剛



●授業づくり:準備と運営 講師──邑本俊亮

S [Specialty]



Classroom English:
 Language of the Classroom
 講師 — Todd Enslen



大学における統計科学・ データサイエンス教育の課題と展望 講師─渡辺美智子

W [Health&Welfare]



大学教育と青年期発達 講師──鈴木敏明



Finding Common Ground:
 enhancing interaction between
 domestic and international students
 講師— Sophie Arkoudis

|V| [Management]



リーダーシップと意思決定 講師──吉武博通



●データを活用した 教育改善へのステップ 講師──鳥居朋子/川那部隆司



私立大学のガバナンスの 課題と展望 講師──合田隆史

刊行物のご紹介



PDブックレット Vol.1 すてきな大学教員をめざす あなたに [2011.7月刊行]



大学の授業を運営するために [2012.3月刊行]



PDブックレット Vol.3 学生のための 心理·教育的支援 [2012.6月刊行]

●在庫なし。CPDホームページから ダウンロード可。



PDブックレット Vol.4 ER@TU - 多読のすすめ [2013.3月刊行]



PDブックレット Vol.5 高等教育における 教育・学習のリーダーシップ [2014.3月刊行]



PDブックレット Vol.6 大学教員のブレーク・スルー [2015.2月刊行]



PDブックレット Vol.7 ディスカッションが 英語授業を変える [2016.3月刊行]



もっと知りたい大学教員の仕事 大学を理解するための12章 羽田貴史 編著 ナカニシヤ出版 [2015.12月発行]

大学教育支援センターについて

大学教育支援センターは、教育関係共同利用拠点(第 1期2010年3月、第2期2014年7月認定)としての役割を 果たすために設けられた業務センターです。当センター は、高度教養教育・学生支援機構に設置された11の業 務センターの一つで、国際連携を基盤に、大学教育内 容・方法開発及び教職員の能力開発を推進するための 調査研究を行い、その成果に基づくプログラム開発、実 施をしています。



「CPDtohoku」で検索



🏏 @CPD_tohoku



www.ihe.tohoku.ac.jp/CPD/

東北大学高度教養教育·学生支援機構 大学教育支援センター

980-8576 宮城県仙台市青葉区川内41 tel: 022-795-4471 fax: 022-795-4749 e-mail: cpd_office@ihe.tohoku.ac.jp url: http://www.ihe.tohoku.ac.jp/CPD/

41 Kawauchi, Aoba-ku, Sendai, Miyagi 980-8576 Japan tel: +81-22-795-4471 fax: +81-22-795-4749 e-mail: cpd_office@ihe.tohoku.ac.jp url: http://www.ihe.tohoku.ac.jp/CPD/